

様式第6号 (第5条関係)

政務活動費実績報告書

令和4年3月28日

久慈市議会議長 畑 中 勇 吉 様

会派名 無所属

代表者名 畑 中 勇 吉



政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、次のとおり報告します。

使 途	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 研修費	<input checked="" type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費
実施期間	令和4年3月25日				
実施場所	-				
参加者名	-				
実績額	98,604円				
内 容	<p>議会活動を住民に周知するための広報紙を印刷し、新聞折り込みで市内の各世帯に配布した。</p> <p>・内容…別紙広報紙のとおり。</p>				

領 収 書

畑中勇吉 様

4年 3月 25日

金 998604

但し 印刷代 税込 円



上記の通り領収致しました

現金	
小切手	
手形	
振込	
相殺	

〒028-0041 岩手県久慈市長内町24-10-13

 有限 九戸印刷 会社

代表取締役 晴山良一

電話 (0194) 52-1113



担当者印

白音



議会報告

畑中ゆうきち

政務情報

No.53

〔連絡事務所〕 久慈市侍浜町外屋敷 6-66-2 TEL58-3128 令和4年3月23日



新型コロナウイルスの早期終息を願う畑中議長

防災意識を高め湾口防波堤など各種防災施設整備の充実を

震災を永遠に風化させない 3・11復興祈念式に誓う

令和4年3月11日、「久慈市東日本大震災復興祈念式」開催にあたり、畑中勇吉議長は、遠藤譲一市長の式辞に続いて久慈市議会を代表して「東日本大震災で犠牲になられた方々のご冥福をお祈りし、ご遺族並びに被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。」と追悼の言葉を申し述べました。



「久慈市東日本大震災復興祈念式」で市議会を代表して挨拶をする畑中ゆうきち議長



久慈湾口防波堤の整備促進についての要望書を東北地方整備局 木本仁港湾空港部長に手交する久慈市の一行（右から2人目、畑中議長）



愛媛県新居浜市議会の行政視察に歓迎の挨拶。（畑中議長、中央）



南海トラフの巨大地震が想定される新居浜市、久慈市の東日本大震災の教訓に質問多数。



東日本大震災等で多大なるご尽力いただいた自衛隊。ご入隊予定者に畑中議長が激励の言葉を



久慈市消防出初式、寒風の中、団員の心意気を感じる市街地での勇壮なる分列行進。東北銀行入り口付近で見守る畑中議長。

令和4年久慈市消防出初式で市議会を代表して「市民の安全安心な暮らしを守るため一層のお力添えを」と挨拶した畑中議長。（前列右端、畑中議長）



一般質問

「もぐらんぴあ」で 北限海女の実演大好評

畑中議長は、平成24年第8回定例会（9月）で清風会を代表して一般質問を行い「地下水族館「もぐらんぴあ」で年間を通じた海女の実演コーナーを開設すべき」と提案した。当時の小袖北限の海女の会が小袖漁港付近で実施している夏場の素潜り実演は大変好評であるが、水温の関係で水泳シーズンの7～9月ごろ開催に



素潜りに見入る観光客

限定されていた。「もぐらんぴあ」水族館の水槽内の水温は、飼育魚の体調管理のためか年間を通じて約20度で管

理されている情報を水産振興を政務調査中に偶然に把握したためである。

当時、この提案に対して、市当局は、その実現に向けて小袖北限の海女の会と協議することを確約した。

こうして平成28年4月より、四季に関係なく年間を通じて小袖北限の海女の会等が中心になって土、日、祝日の午後1時30分より北限の海女の素潜りが午前11時30分より南部潜りのダイバー潜水が好評にて実演されている。

一般質問 三陸沿岸道・普代久慈間にも避難階段

畑中議長は、平成20年第11回定例会議（12月10日）で清風会を代表して一般質問を行い、盛り土構造の八戸・久慈自動車道を避難路として活用すべきと提案した。

これに対して市当局は、津波発生時において新井田地区や湊地区は避難路とし

活用できないか三陸国道事務所から伺ったら八戸・久慈自動車道は自動車専用道路で、その道路の盛り土に階段等は危険で設置できないとの見解である。と答弁があった。それから約2年経過して東日本大震災発生後、平成23年第28回定例



新井田地区の避難路

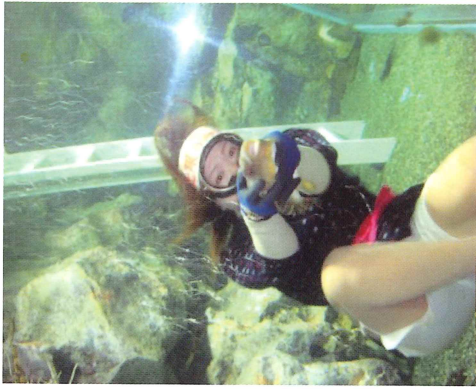
会議（6月23日）で清風会を代表して一般質問を行い再度、八戸。久慈自動車道



元木沢地区の避難路

を津波等の避難路として活用すべきと提案した。質問に対し市当局より、「被災された東北沿岸の方々は、盛り土構造により高台に整備された高規格道路等に避難することで、大津波から難を逃れた事例が多く報告されている。当局としても津波発生時において八戸。久慈自動車道への避難は住民が迅速に避難できる有効な方法と強く認識している。このたびの震災を受け、避難路として活用できるよう現在、東北地方整備三陸国道事務所と協議を進めているところである。」

と答弁があった。その後、八戸・久慈自動車道夏井大崎地区夏井川付近に第1号の避難階段が設置され、三陸自動車道久慈～普代間の工事によって新井田地区や長内町元木沢地区に複数の避難階段が設置されることになった。



仲良しフグちゃんとのひと時

後援会員募集中

畑中ゆうさち後援会

久慈市侍浜町外屋敷

TEL 01941-616612

5813128